

# 大分県長期漁海況予報

〔平成 29(2017)年 1～6 月までの海水温・漁模様の見通し〕



大分県農林水産研究指導センター水産研究部  
879-2602 大分県佐伯市上浦大字津井浦 194-6

Phone0972-32-2155 Fax.0972-32-2156 <http://www.pref.oita.jp/soshiki/15090/>

## 海況経過<平成 28 年 8～12 月>

### ■黒潮

8～9 月は接岸、10 月は平均的な位置、11 月は接岸、12 月は一時的に離岸したものの接岸傾向で推移しました。

### ■水温

豊後水道の水温(0～75m層)は、8～10月は「平年並み」、11～12月は「やや高め」～「高め」で推移しました(図1)。

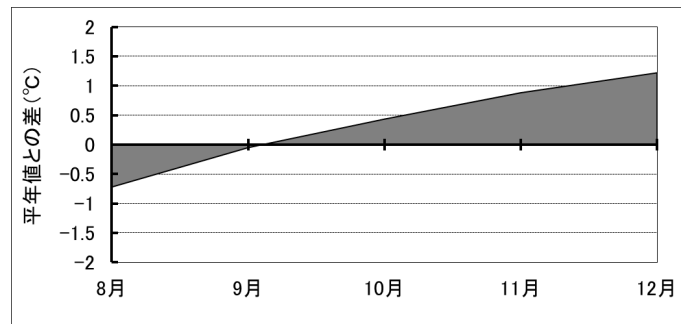


図1 豊後水道における水温の平年値との差(0～75m層の平均値)

### ■塩分

豊後水道の塩分(0～75m層)は、8月は「低め」～「やや低め」、9～12月は「平年並み」で推移しました(図2)。

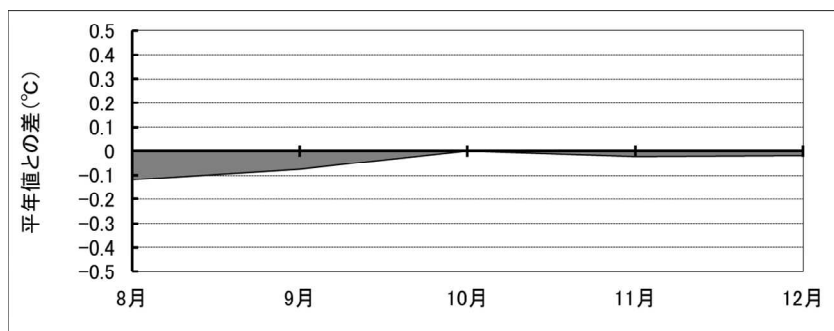


図2 豊後水道における塩分の平年値との差(0～75m層の平均値)

## 今後の海況の見通し＜平成 29 年 1～6 月＞

### ■黒潮

・都井岬沖では、2～3 月中旬は「やや離岸」で推移するでしょう。

### ■沿岸水温

「高め」で推移するでしょう。

### ■予測の説明と根拠

・黒潮流路予測は平成 28 年度第 2 回太平洋いわし類・マアジ・さば類等長期漁海況予報(中央水産研究所及び関係都道府県:2016)を参考にしました。

・沿岸水温は気温の影響を強く受けると考えられます。福岡管区気象台の平成28年12月21日に発表された「九州北部地方3ヶ月予報」では「低め30%、平年並み30%、高め40%」と予測していることから沿岸水温は高めで推移すると思われる。

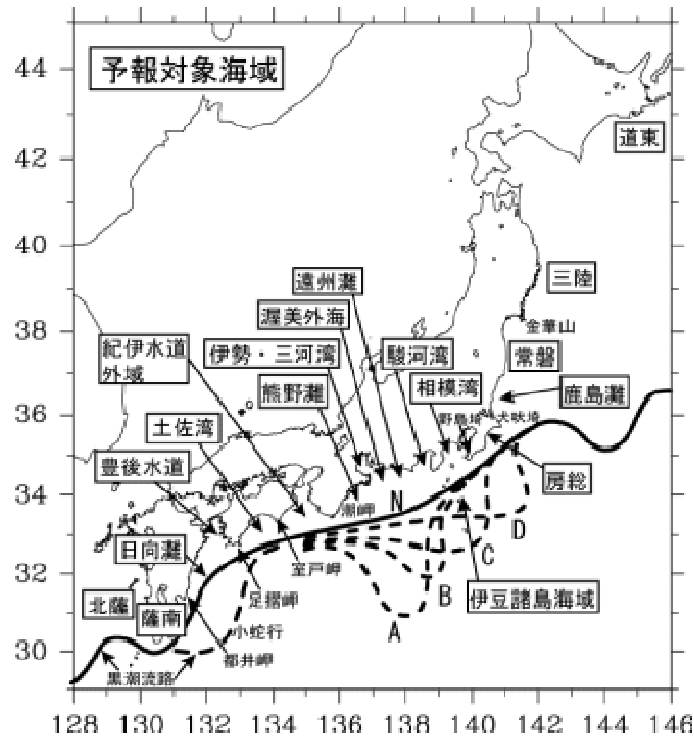


図 3 黒潮流型の分類

※上図は太平洋いわし類・マアジ・さば類等長期漁海況予報(水産庁プレスリリース資料)より引用

## ■マイワシ

### □2016年7～11月の漁況経過

2016年7～11月における豊後水道南部主要3港(鶴見、米水津、蒲江)のまき網によるマイワシの漁獲量は3,698トンで、前年比78%、1986～2015年の平均値(以下「平年」という)の比が189%と、前年を下回り平年を上回りました。漁獲の主体は被鱗体長<sup>(用語解説①)</sup>10～15cm(いずれも0歳魚:2016年生まれ)でした。

なお、近隣海域<sup>(用語解説②)</sup>では宮崎県は前年の33%、愛媛県は前年の75%、高知県では前年の約15%の漁獲量となっています(愛媛県のみ2016年8～11月、その他は2016年7～11月の漁獲量合計値)。

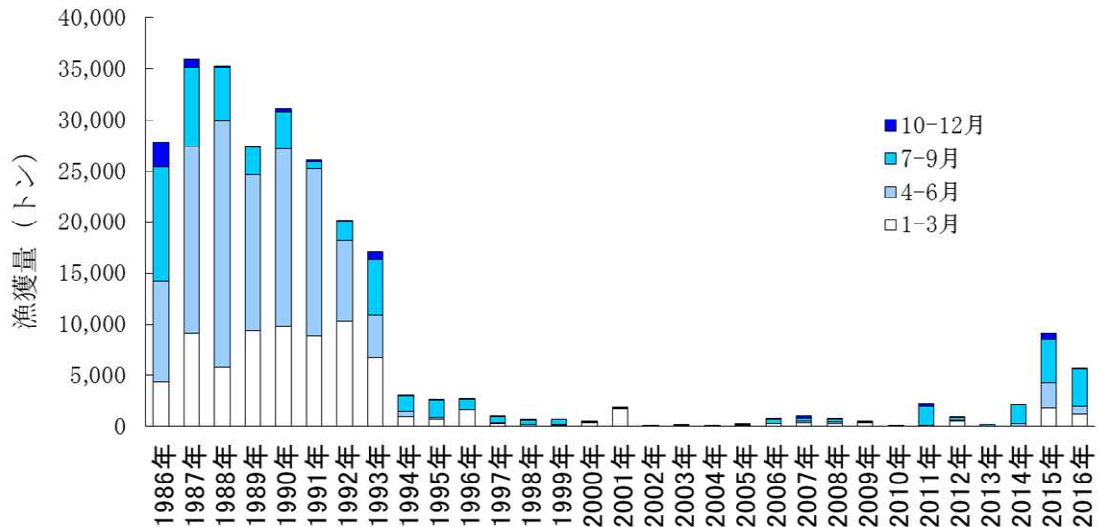


図4 マイワシのまき網における漁獲量(鶴見・米水津・蒲江支店)

## 今後の見通し<2017年1～6月>

### 来遊水準:

豊後水道への来遊量は、前年並～下回るでしょう。(2016年1-6月:1,950トン)



### 漁獲対象年生まれ及び体長:

1～3月は被鱗体長15～20cm前後の1・2歳魚(2015・2016年生まれ)が主体となり、4～6月は被鱗体長7～12cm前後の0歳魚(2017年生まれ)が主体となるでしょう。

### 【説明】

1～3月に漁獲の主体となる2016年生まれ(明け1歳魚)は、2016年生まれが漁獲の主体だった2016年4～11月のまき網漁獲量が4,505トンで前年比63%と前年を下回りました。このことから、1～3月の来遊水準は前年を下回ると考えられます。ただし、4月以降に漁獲される0歳魚(2017年生まれ)の来遊水準については現段階では不明であり、近年の傾向では0歳魚が主体となる6月の漁獲量が予測期間中の漁獲量に占める割合が高いことから、予想は前年並み～下回るとしました。

## ■カタクチイワシ(成魚)

### □2016年7～11月の漁況経過

2016年7～11月における豊後水道南部主要3港(鶴見、米水津、蒲江)のまき網によるカタクチイワシの漁獲量は1,339トンで、前年比137%、平年比93%と、前年を上回り平年並みの漁となりました。漁獲の主体は8月は被鱗体長8～10cm前後の0歳魚(2016年生まれ)および1歳魚(2015年生まれ)、9月以降は8cm未満の0歳魚(2016年生まれ)主体でした。なお、宮崎県では前年の349%、愛媛県では前年の257%、高知県では前年の141%の漁獲量となっています。

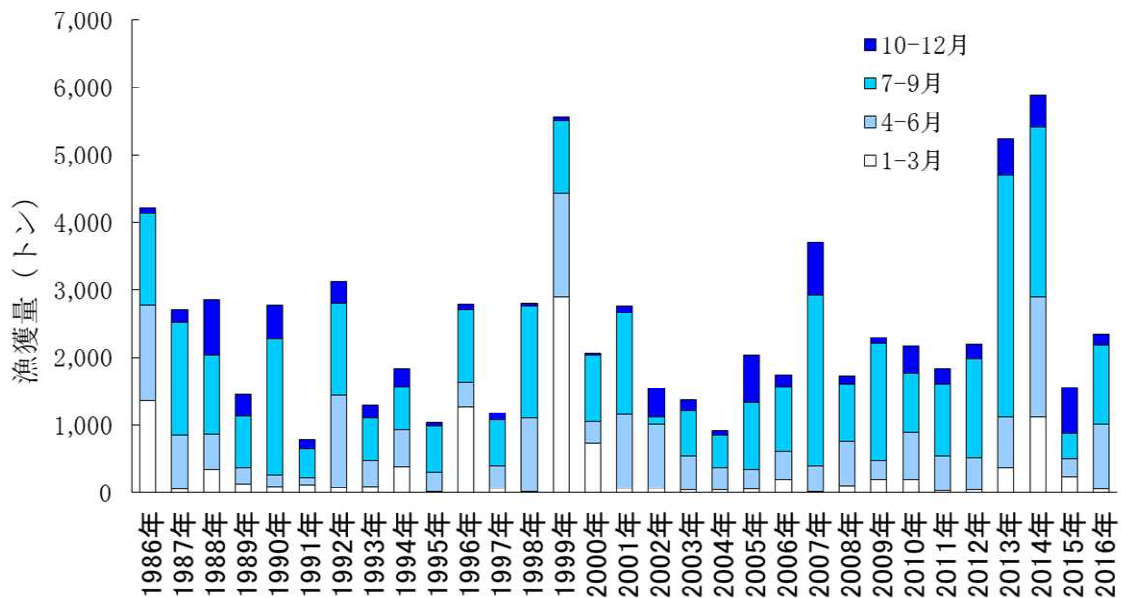


図5 カタクチイワシのまき網における漁獲量 (鶴見・米水津・蒲江支店)

## 今後の見通し<2017年1～6月>



### 来遊水準:

豊後水道への来遊量は、前年を下回るでしょう。(2016年1-6月:1,008トン)

### 漁獲対象年生まれ及び体長:

1～6月は1歳魚が漁獲の主体となる。

### 【説明】

例年、1～6月は1歳魚が漁獲の主体となります。2016年生まれ(明け1歳魚)が主体だった2016年9～11月の漁獲量は513トンで前年比70%であり、前年を下回っていることから、2016年生まれ(明け1歳魚)の漁獲は低水準で推移することが予想されます。したがって予想は前年を下回るとしました。

## ■ウルメイワシ

### □2016年7～11月の漁況経過

2016年7～11月における豊後水道南部主要3港(鶴見、米水津、蒲江)のまき網によるウルメイワシの漁獲量は784トンで、前年比166%、平年比88%と、前年を上回り平年並みの漁となりました。漁獲の主体は、7月は10～12cm前後の0歳魚(2016年生まれ)でした。

なお、宮崎県では前年の111%、愛媛県では前年の79%、高知県では前年の117%の漁獲量となっています。

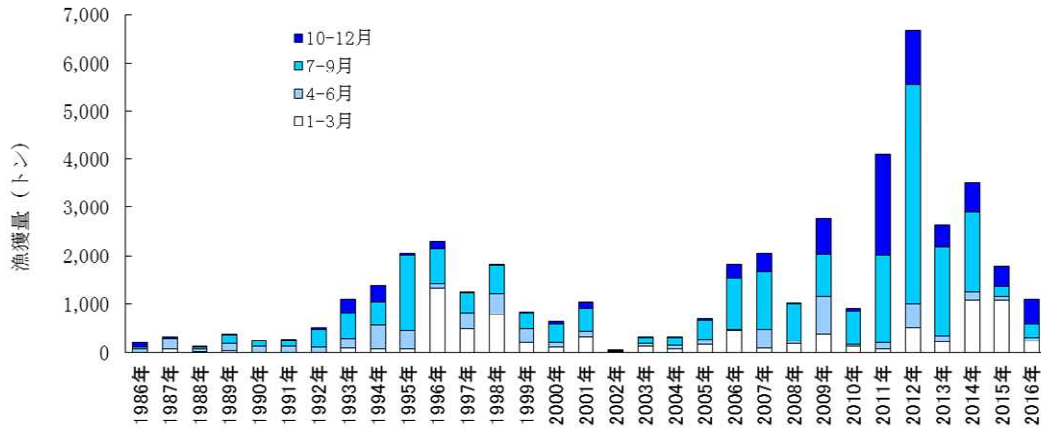


図6 ウルメイワシのまき網における漁獲量 (鶴見・米水津・蒲江支店)

## 今後の見通し<2017年1～6月>

### 来遊水準:

豊後水道への来遊量は、前年を上回るでしょう。(2016年1-6月:308トン)



### 漁獲対象年生まれ及び体長:

1～3月は被鱗体長15～20cm前後の1歳魚が主体となり、4～6月は被鱗体長10cm前後の0歳魚(2016年生まれ)が漁獲の主体となるでしょう。

### 【説明】

1～3月に漁獲の主体となる2016年生まれ(明け1歳魚)は、2016年生まれが漁獲の主体だった2016年4～11月のまき網漁獲量が860トンで前年比162%と前年を上回りました。このことから、予測期間中の来遊水準は前年を上回ると予想しました。

## ■マアジ

### □2016年7～11月の漁況経過

2016年7～11月における豊後水道南部主要3港(鶴見、米水津、蒲江)のまき網によるマアジの漁獲量は642トンで、前年比189%、平年比42%と前年を上回り平年を下回る漁となった。漁獲物は、尾叉長<sup>(用語解説③)</sup>10～15cm前後の0歳魚(2016年生まれ)主体でした。

なお、宮崎県では前年の306%、愛媛県では前年の162%、高知県では銘柄「アジ」が前年の96%で銘柄「ゼンゴ」が前年の182%の漁獲量となっています。

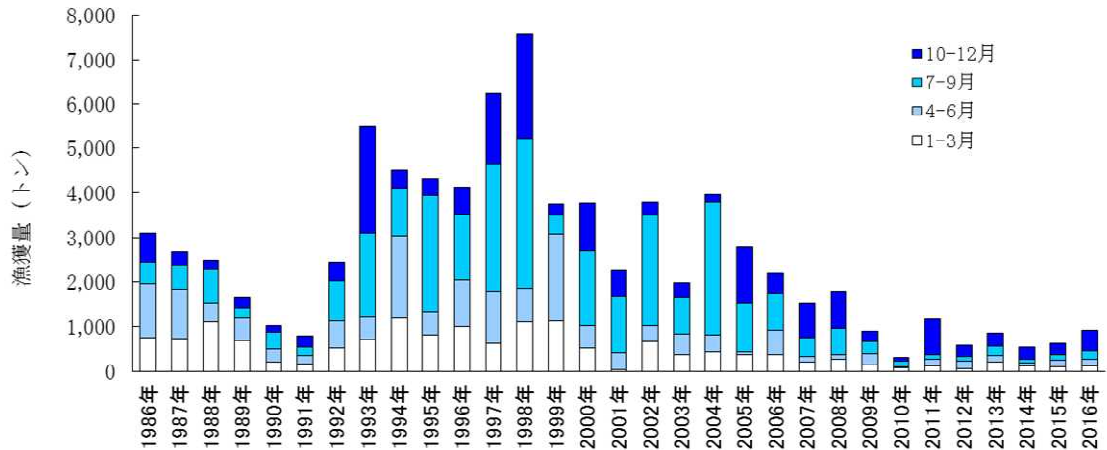


図8 マアジのまき網における漁獲量(鶴見・米水津・蒲江支店)

## 今後の見通し<2017年1～6月>



### 来遊水準:

豊後水道への来遊量は低水準ですが前年を上回るでしょう。(2016年1-6月:266トン)

### 漁獲対象年生まれ及び体長:

尾叉長10～15cm前後の1歳魚(2016年生まれ)が漁獲の主体となるでしょう。

### 【説明】

例年、1～6月は1歳魚が主体となります。8～11月は0歳魚(明け1歳魚)が漁獲の主体ですが、2016年の該当期間における漁獲量は558トンで前年比180%だったことから、来遊水準は前年を上回ると予想しました。

## ■さば類

### □2016年7～11月の漁況経過

2016年7～11月における豊後水道南部主要3港(鶴見、米水津、蒲江)のまき網によるサバ類の漁獲量は151トンで、前年比41%、平年比6%と前年・平年を大きく下回る漁でした。なお、宮崎県では前年の57%、愛媛県では前年の92%、高知県では前年の125%の漁獲量となっています。

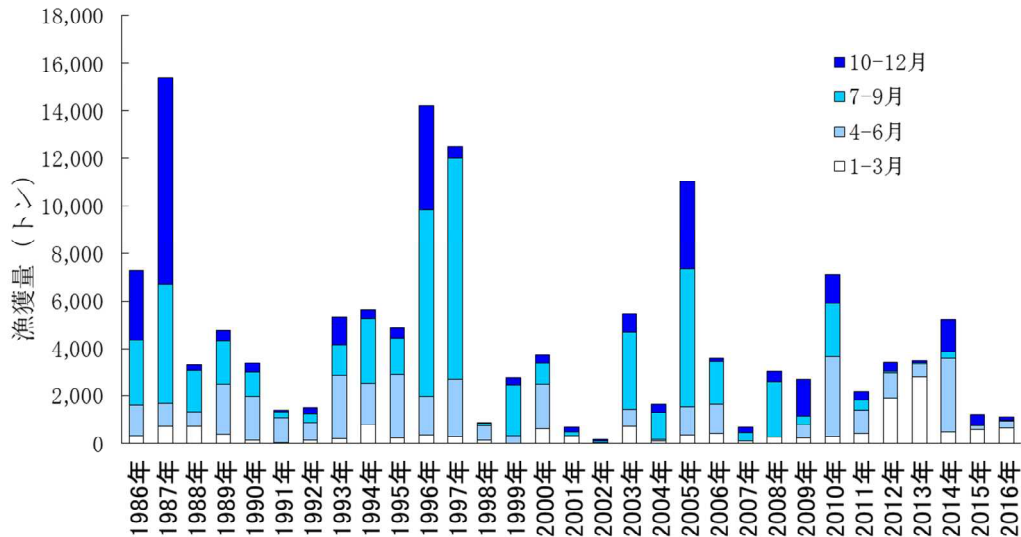


図9 さば類(マサバ・ゴマサバ)のまき網における漁獲量(鶴見・米水津・蒲江支店)

## 今後の見通し<2017年1～6月>



### 来遊水準:

豊後水道への来遊量は、前年を下回るでしょう。(2016年1-6月:946トン)

### 漁獲対象年生まれ及び体長:

近年の調査結果によれば、1～3月はマサバ・ゴマサバ1歳魚以上が主体となります。4月以降はゴマサバが主体となり2～3歳魚に0～1歳魚が混じるでしょう。

### 【説明】

予測期間中は30cm以上のマサバ・ゴマサバ(1歳魚以上)が漁獲の主体となります。2016年の10～11月は0歳魚(明け1歳魚)が漁獲の主体でその漁獲量は109トンであり、前年比29%だったことから来遊水準は前年を下回ると予想しました。

## その他

### ■予測の根拠および参考資料

・平成28年度第2回太平洋いわし類・マアジ・さば類等長期漁海況予報(中央水産研究所及び関係都道府県:2016)

URL: <http://www.fra.affrc.go.jp/pressrelease/pr2016/20161219/index.html>

### ■用語解説

- ①被鱗体長 :体の前端から、尾柄の鱗で覆われている部分の後端までの直線距離。
- ②近隣海域 :ここでは、3県(宮崎県・愛媛県・高知県)の海域とし、高知県の漁獲量の前年比は宿毛湾における中型まき網によるものとししました。
- ③尾叉長 : 体の前端から、尾びれの湾入部内縁中央(くびれている部分)までの直線距離。

### ■問い合わせ先

この予報に関する問い合わせ先は、大分県農林水産研究指導センター水産研究部 栽培資源チームまで。

〒879-2602 大分県佐伯市上浦大字津井浦194-6  
電話:0972-32-2155  
FAX:0972-32-2156